作成日　２０１１年　１月３１日
改訂日　２０２２年　４月２５日

# 安全データシート

## １．化学品及び会社情報

製品名　パワーザック
会社名　株式会社　アルボース
住所　大阪市中央区備後町２－４－９（日本精化ビル）
電話番号　０６－６２０４－４４６６　ＦＡＸ番号　０６－６２０４－１４００
記載内容問合せ及び緊急連絡先　０６－６４１４－１０５５（研究開発センター）
整理番号　ＡＦ－３０

## ２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

| | | |
|---|---|---|
| 物理化学的危険性 | ：金属腐食性化学品 | 区分１ |
| 健康有害性 | ：急性毒性（経口） | 区分に該当しない |
| | 急性毒性（経皮） | 分類できない |
| | 急性毒性（吸入：気体） | 区分に該当しない |
| | 急性毒性（吸入：蒸気） | 分類できない |
| | 急性毒性（吸入：粉じん及びミスト） | 区分に該当しない |
| | 皮膚腐食性／刺激性 | 区分１ |
| | 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 区分１ |
| | 呼吸器感作性 | 分類できない |
| | 皮膚感作性 | 分類できない |
| | 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| | 発がん性 | 分類できない |
| | 生殖毒性 | 分類できない |
| | 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | 区分２（呼吸器） |
| | 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | 区分２（呼吸器、肝臓） |
| | 誤えん有害性 | 分類できない |
| 環境有害性 | ：水生環境有害性　短期(急性) | 区分に該当しない |
| | 水生環境有害性　長期(慢性) | 分類できない |
| | オゾン層への有害性 | 分類できない |

ＧＨＳラベル要素

絵表示又はシンボル　：

注意喚起語　：危険

危険有害性情報　：金属腐食のおそれ
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
臓器（呼吸器）の障害のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（呼吸器、肝臓）の障害のおそれ

注意書き　：【安全対策】
他の容器に移し替えないこと。
ミスト／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
【応急措置】
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
【保管】
耐腐食性／耐腐食性内張りのある容器に保管すること。
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

## ３．組成及び成分情報

化学物質･混合物の区別：混合物
化学名又は一般名：洗浄剤
成分及び含有量：

| 成分 | 含有量（%） |
|---|---|
| 水酸化ナトリウム | １～５ |
| 水酸化カリウム | １～５ |
| 界面活性剤 | 非公開 |
| 溶剤 | 非公開 |
| 有機ビルダー | 非公開 |
| 水、その他成分 | 非公開 |

## ４．応急措置

吸入した場合：直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静にする。ひどい場合は、直ちに医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合：強アルカリ性の製品なので、清浄な水を流しながら皮膚の刺激や、ぬるぬるする感じがなくなるまで洗い続ける。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受ける。この製品が皮膚に触れた場合、一刻も早く洗浄を始め、付着した製品を完全に洗い流す必要がある。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分だと皮膚障害を生ずるおそれがある。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
清浄な水で数分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
この製品が眼に入った場合、一刻も早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分であると不可逆的な眼の障害を生ずるおそれがある。
飲み込んだ場合：すぐにコップ１～２杯の牛乳または水を飲ませ、誤飲したものを薄めたり食道や粘膜を保護する。無理に吐かせてはいけない。嘔吐や下痢症状が激しかったり様子がおかしい場合は医師に相談する。

## ５．火災時の措置

消火剤：霧状水、粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂
使ってはならない消火剤：情報なし
特有の危険有害性：情報なし
特有の消火方法：消火作業は可能な限り風上から行う。
この製品自体は燃焼しない。

消火を行う者の保護　：消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

## ６．漏出時の措置

人体に対する注意事項　保護具及び緊急時措置：漏出時の処理を行う際には、ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
こぼれた場所はすべりやすいため注意する。

環境に対する注意事項：流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：漏出源を遮断し、漏れをとめる。
少量の場合は、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
強アルカリ性の製品なので、必要があれば希塩酸、希硫酸等で中和する。

## ７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。

安全取扱い注意事項：アルカリ性なので、酸性の製品との接触を避ける。

保管

安全な保管条件：密栓し、直射日光の当たらない場所に保管する。
幼児の手の届かないところに保管する。
酸性物質と一緒に保管しない。

安全な容器包装材料：専用の容器以外は使用しない。

## ８．ばく露防止及び保護措置

設備対策：取扱い場所の近くに水洗、洗顔設備を設ける。

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：日本産業衛生学会　最大許容濃度

| | |
|---|---|
| 水酸化ナトリウム | ２ｍｇ／$m^3$ |
| 水酸化カリウム | ２ｍｇ／$m^3$ |
| ＡＣＧＩＨ　ＴＬＶ－ＳＴＥＬ | |
| 水酸化ナトリウム | ２ｍｇ／$m^3$ |
| 水酸化カリウム | ２ｍｇ／$m^3$ |
| ＡＣＧＩＨ　ＴＬＶ－ＴＷＡ | |
| ジエチレングリコールモノブチルエーテル | １０ｐｐｍ（ＩＦＶ） |

保護具

呼吸器用保護具：必要に応じてマスクなどを着用

手の保護具：保護手袋

眼の保護具：保護メガネ

皮膚及び身体の保護具：保護衣

## ９．物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：青色透明

臭い：僅かな原料臭

融点／凝固点：情報なし

沸点又は初留点及び沸点範囲：情報なし

可燃性：情報なし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：情報なし

引火点：情報なし

自然発火点：情報なし

分解温度：情報なし

ｐＨ：１３以上

動粘性率　：情報なし
溶解度　：水に良
n-オクタノール／水分配係数（log値）　：情報なし
蒸気圧　：情報なし
密度（比重）及び／または相対密度　：１．１１
相対ガス密度　：情報なし
粒子特性　：情報なし

## １０．安定性及び反応性

反応性　：通常条件で安定。
化学的安定性　：通常条件で安定。
危険有害反応可能性　：酸と接触すると発熱する。
避けるべき条件　：情報なし
混触危険物質　：アルミニウム、錫、亜鉛等の金属を侵し水素を発生し、これが空気と混合して引火性爆発することがある。
危険有害な分解生成物　：情報なし

## １１．有害性情報

当該製品のデータが無いため、配合成分の混合物として、ＧＨＳ分類した。

急性毒性
経口　：加算式判定の結果、区分に該当しないとした。
経皮　：参照データが少ないため、分類できないとした。
吸入（気体）　：ＧＨＳの定義における液体であるため、区分に該当しないとした。
吸入（蒸気）　：参照データが少ないため、分類できないとした。
吸入（粉じん／ミスト）　：ＧＨＳの定義における粉じん及びミストには該当しないため、区分に該当しないとした。
皮膚腐食性／刺激性　：ｐＨによる判定の結果、区分１とした。
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性　：ｐＨによる判定の結果、区分１とした。
重篤な眼の損傷
呼吸器感作性　：参照データが少ないため、分類できないとした。
皮膚感作性　：参照データが少ないため、分類できないとした。
生殖細胞変異原性　：参照データが少ないため、分類できないとした。
発がん性　：参照データが少ないため、分類できないとした。
生殖毒性　：参照データが少ないため、分類できないとした。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）　：加成性判定の結果、区分２（呼吸器）とした。
臓器(呼吸器）の障害のおそれ
特定標的臓器毒性（反復ばく露）　：加成性判定の結果、区分２（呼吸器、肝臓）とした。
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（呼吸器、肝臓）の障害のおそれ
誤えん有害性　：参照データが少ないため、分類できないとした。

## １２．環境影響情報

生体毒性　：情報なし
残留性・分解性　：情報なし
生態蓄積性　：情報なし
土壌中の移動性　：情報なし
オゾン層への有害性　：情報なし

また、当該製品のデータが無いため、配合成分の混合物としてＧＨＳ分類した。
水生環境有害性　短期（急性）　：加算式判定の結果、区分に該当しないとした。
水生環境有害性　長期（慢性）　：参照データが少ないため、分類できないとした。

１３．廃棄上の注意　：水質汚濁防止法などの関連法規に適合するよう廃棄する。
または、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

１４．輸送上の注意

国際規制

国連番号　：ＵＮ１７６０(水酸化ナトリウム、水酸化カリウム)

国連分類　：クラス８

容器等級　：Ⅱ

国内規制　：陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策　：運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめて、転倒、落下、損傷がないよう積込み、荷くずれの防止を確実に行う。

１５．適用法令

化学物質排出把握管理促進法（PRTR制度）　：第一種指定化学物質
ジエチレングリコールモノブチルエーテル　４．０％
管理番号：６２７
（２０２３年４月１日以降、化管法第１種指定化学物質）
第二種指定化学物質　該当せず。

労働安全衛生法　：５７条の２　表示対象物質
水酸化ナトリウム
水酸化カリウム
ジエチレングリコールモノブチルエーテル
５７条の２　通知対象物質
水酸化ナトリウム　１～５％
水酸化カリウム　１～５％
ジエチレングリコールモノブチルエーテル　１～１０％

毒物及び劇物取締法　：該当せず。

消防法　：非危険物

化審法　：特定化学物質・監視化学物質　該当せず。

船舶安全法　：危規則第３条危険物告示別表第１　腐食性物質

航空法　：施行規則第１９４条危険物告示別表第１　腐食性物質

１６．その他の情報

記載内容の問い合わせ先：株式会社　アルボース
住所　兵庫県尼崎市道意町７丁目１番３
尼崎リサーチ・インキュベーションセンター４階
担当部門　製品研究課
電話番号　06-6414-1055　ＦＡＸ番号　06-6414-1065

【注意】

この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
法令の改正及び新しい知見に基づいて改正されることがあります。
注意事項は通常の取扱いを対象としたものですが、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
すべての化学品には未知の有害性があり得るために、取扱いには細心の注意が必要です。
ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。
記載された物性値、含有率などは、製品の一般的な値を示した物で、規格値、保証値ではありません。